

教科(科目)	キャリアデザイン(地域デザイン)	単位数	2	学年(コース)	3 学年(地域探究コース)
使用教科書	実教出版『ビジネス経済応用』				
副教材					

1 科目のねらい

ビジネスに必要な経済に関する知識を習得させ、経済社会の動向について理解させるとともに、サービス経済社会に適切に対応する能力と態度を育てる。また、地元阿賀野市を中心とした地域経済の実態を学び、地域経済で活躍できる人材を目指し学習する。

2 学習計画

時期	授業計画と授業内容	時期	授業計画と授業内容
1 学期 中間 考查	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興 (10時間) 1節 起業の手続き 1 起業の意義 2 経営理念の作成 3 起業にさいしての支援制度 4 株式会社設立の流れ ・模擬会社の設立など学習 ・地元企業関係者による指導、講演	2 学期 中間 考查	第4章 企業経営 (14時間) 1節 企業経営の特色 1 自由な競争と日本的経営 2 財務的特質と企業間関係 3 雇用慣行の特色 4 集団的意思決定 5 わが国企業経営の課題 ネット販売や文化祭へ向けた企画の検討、実践 ・企業との交渉 ・仕入、販売計画 ・店舗設計 ・商品発注
	3節 地域ビジネス事情 (12時間) 1 地域ビジネスの動向と地域の資源 2 地域産業振興をめざした 地域ビジネスの立案 阿賀野市や地元企業と連携し、地域経済の実態と課題を学ぶ。 ・ネット販売について ・地域の特産品や産業の調査 ・文化祭での物品販売・商品開発などの企画・交渉		2節 企業経営と外部環境 (16時間) 1 少子高齢化と人口減少への対応 2 国民生活の変化への対応 3 国際化の進展と規制緩和への対応 4 情報社会への対応 ・ネット販売 ・模擬店実施後の反省、課題 ・地元関係者による講演
1 学期 期末 考查		学 年 末 考 査	第2章 経済の国際化 (18時間) 1節 企業の国際化・グローバル化 1 国際化からグローバル化へ 2 グローバル化の主体 3 わが国の企業のグローバル化 4 地域経済統合 ・報告書作成、発表

合計70時間(50分授業)

3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
地域経済について関心を持ち、主体的に地域の産業やビジネスについて調べ、地域経済の一員として参加しようとする意欲を持ち、実践的な態度を身につけている。	地域ビジネスに関する課題を適切に判断し、どう対応していくべきかを思考し、今まで学習してきた知識と技術をもとに、表現する創造的な能力を身につけている。	学んできたビジネスに関する基礎的・基本的な技術を活かし、地域ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を応用できる技能を身につけている。	ビジネスに関する知識を応用できる能力を身に付け、地域経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み、服装、態度・出席状況・提出物などから総合的に評価します。

4 教科から一言

校外から講師を招き、地元阿賀野市を中心に地域経済の現状と課題を確認し学習するとともに、ネット販売や文化祭とおしての地元商品の販売など体験型の学習をすすめます。社会人の方と接する機会が多いので服装、挨拶などビジネスマナーに気をつけてください。自分で考え行動してください。